

# 親子聖書日課

[日]御言葉はいつか聞けばよいと思ってはいけません。地獄に投げ込まれた金持ちは、主を信じなかったばかりにもだえ苦しみ、兄弟達もあとでは聞く耳をもたなかったのです。今日、御言葉を聞いたなら、「耳を傾けて」すぐに従いましょう。

[月]治った10人の内、感謝するために主の下へ帰って来たのは、一人だけでした。救いの恵みを受けた後、感謝に満たされて、神の栄光のために生きる人は、今日も少ないのです。その一人になって、生涯、感謝の賛美と祈り、賜物を捧げましょう。

[火]ロトの妻は、安全な所へ逃げながら、主の戒めを破って、滅びゆくソドムの町を振り返ったため、塩の柱になりました。この世の持ち物に心が惹かれたのです。信仰は、この世のものに固守してはダメです。ただ主を見上げて、前進しましょう。

[水]祈りが答えられないと失望して、祈りを止める人はいませんか。「不正な裁判官」でも、熱心な祈りに心を動かされました。愛に富む神は尚のこと、私達の熱心な祈りを聞かれます。どんな時も祈り、又祈禱会に参加して、祈り合いましょう。

[木]自分にとって大切なものを、人に分けたり、捨てたりするには、勇気が入ります。しかし、そうすることで、何倍もの祝福を受けることができます。分けたり、捨てることは難しくありません。主が身をもって示して下さったので、主に倣いましょう。

[金]主の救いを得たザアカイは命じられてもいないのに、施しを申し出ました。救われたら、物質はもう惜しくはありません。献金することが喜びになります。それは、気前の良さは性格ではなく、信仰によります。「われ何をもちて、これに応えん」

[土]10人の僕全員が同額の一ムナ(3カ月分の給料)が与えられたということは、僕たちが公平に最低限のものは与えられたということです。自分には何も与えられていないと文句を言うてはいけません。主のために用いるなら、祝福されます。



NO.1484 2017.3/5-11

名前

	聖書	問題	答え
日	ルカ 16:14-31	アブラハムと金持ちの間には、何があつて渡ることはできませんか。	
月	17:1-19	清くされた10人の内、神を賛美するために戻って来たのは何人か。	
火	17:20-37	誰のことを思い出すべきですか。	
水	18:1-17	イエスはどのように祈ることを教えられましたか。	
木	18:18-34	人間にはできないことでも、誰にはできますか	
金	18:35-19:10	人の子は誰を捜して救うために来ましたか。	
土	19:11-27	誰でも持っている人は更にどうなりますか。	
感想と祈りの課題			







